



議会だより

おやま 町議会

No. 111

- 5月臨時議会 正副議長決まる……………2~3
- 6月議会 繰越計算書の報告……………4
- 7月臨時議会 副町長決まる……………4
- 一般質問 7人が登壇……………5~11
- 編集後記……………12



絵：大眞正之

おやまの文化財

国指定文化財

「富士山」

言わずと知れた日本一の山「富士山」は、その頂上まで小山町の町域で、昭和27年11月22日に国の指定文化財に指定されました。現在は、「世界遺産」登録に向けて準備が進められていて、日本の暫定リストに掲載されています。

※表紙絵について

平成15年8月号から町内の「橋」を取り上げてきましたが、今回から、町内に存在している「文化財」を順次掲載していきますので、お楽しみください。

5月臨時議会

議長に 梶 繁美議員 副議長に 込山恒広議員を選出

任期満了に伴う、町議会議員選挙が行われ、15人の新しい議員が決まりました。そして、5月11日に臨時議会を開催し、正副議長等の選挙を行いました。その結果、議長には梶繁美議員、副議長には込山恒広議員を選出しました。また、常任委員会等の委員も新たに決めました。

信頼される議会に

先の臨時議会で議長にご推挙いただきその職責の重要さを日々痛感しています。

みなさんの声が正しく行政に伝わり、町政に反映される町民のための議会となるよう、努力して参りたいと思います。



議長
梶 繁美

今、小山町は、F1日本グランプリの開催という明るい話題がありますが、これからの行政課題として財政の健全化、少子高齢化問題、新東名高速道路の建設等を抱えています。

これらの問題に対して、議会に寄せる期待は大きいと思いますので、議員みなさんのご協力を得ながら、町民から信頼される議会となるよう頑張ります。

町の発展のために

もとより浅学非才な私が、副議長の重責を担うこととなり、その責務の重大さを痛感致します。これから、皆様のご協力の基に、その意見を議会に反映させ、町の発展に結びつけていきたいと思ひます。



副議長
込山 恒広

わが町には産業観光資源として、世界に誇れる富士山、豊富な水、富士スピードウェイレース場等があります。東京からの100キロ圏という地の利を生かし、交流人口増をはかることにより、地域経済の活性化も期待できます。

小山町が「自立」、「元気」を出すため、議長の補佐として、住民の皆様のために頑張りますので、宜しくお願いします。

。議会運営委員会

定数5人
議会を円滑に、しかも効率的に運営するために、常任委員会とは別に設置している委員会です。

議会運営の責任者である議長の協力的な性格を帯びた委員会で、次のような事項に関する調査及び議案、陳情等の審査を行います。

①議会の運営に関すること
②議会の会議規則、委員会に関する条例等に関すること

③議長の諮問に関すること

- 委員長 湯山 鉄夫
- 副委員長 藤田 豊彦
- 委員 池谷 洋子
- 委員 岩田 治和
- 委員 込山 恒広

◎その他選出議員

- 。御殿場市・小山町広域行政相合議会議員
- 議員 廣嶋 邦彦
- 議員 空伏 武
- 議員 真田 勝
- 議員 米山 元
- 議員 仲井 民夫

総務建設委員会

委員7人



前列左から 米山 元委員 岩田治和委員長
 田代一夫副委員長 仲井民夫委員
 後列左から 湯山鉄夫委員 真田 勝委員
 廣嶋邦彦委員

- ・ 行政の総合的な企画調整
- ・ 土地利用
- ・ 税金
- ・ 道路や河川、公園の整備
- ・ 都市整備
- ・ 住宅政策、地籍調査
- ・ 商工業の振興、消費者対策
- ・ 産業振興

文教厚生委員会

委員7人



前列左から 岩田潤泉委員 池谷洋子委員長
 米山千晴副委員長 込山恒広委員
 後列左から 白井淳一委員 齋田豊造委員
 室伏 武委員

- ・ 義務教育、生涯学習
- ・ 戸籍
- ・ 国民健康保険
- ・ 福祉
- ・ 介護保険
- ・ 町民生活や健康
- ・ 消防、防災
- ・ 環境、衛生

◎ 6月定例会で選出

・ 議会広報対策特別委員会 定数5人
 年4回発行する「議会だより」の編集に携わっています。

・ 議員長 込山 恒広
 副委員長 米山 千晴
 委員 白井 淳一
 委員 田代 一夫
 委員 岩田 治和

・ 総合学術管理組合議会議員
 町 長 高橋 宏

・ 監査委員
 委員 室伏 武

・ 関東地区交通災害共済組合議会議員
 議 長 梶 繁美

・ 教育委員会委員の選任
 教育委員会委員の関渡秀さんが、7月2日に任期満了で退任されることになったため、新たに鈴木俊一さん(宿区)を選任することに同意しました。

6月定例会

5件の繰越計算書の報告

平成19年第4回6月定例会が6月1日から16日まで、会期を15日間として開催されました。今定例会には当局から補正予算を含め12議案と議会から特別委員会の設置など3議案、合計15議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり承認可決しました。

繰越明許費

繰越計算書の報告

繰越明許費とは、予算成立後の事由により、当該年度中に事業が終了しない場合、引き続き事業を継続することをいいます。

〔一般会社〕

- ・須走地区町づくり整備事業(小島の音楽堂遊歩道整備) 1千6万4千円
- ・後期高齢者医療制度システム開発委託業務 1千155万円
- 〔国民健康保険特別会計〕
- ・後期高齢者医療制度保険料徴収システム開発委託業務 535万5千円



▲認定・廃止される町道を視察する総務建設委員

〔水道事業会計〕

- ・北郷水系配水管布設工事 1千855万円

町道路線の認定・廃止

平成19年度から富士裾野東部土地改良区が事業主体となり、「道の駅ふじおやま」の東側で実施していた用沢原地区ほ場整備が完了したことにより、新たに道路幅を再編するものです。廃止される町道は、佐ノ

- 川大塚線ほか7路線で、総延長は1千700mです。
- 一方、認定される町道は、11路線で、総延長は2千150mです。

条例の改正

☆教育委員会の委員等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の改正
 「国会議員の選挙時執行経費の基準に関する法律の一部改正」の順に準じて、選挙長・開票管理者・投票管理者・投票立会人・開票立会人・選挙立会人の報酬を現在支給している額から、100円から200円引き下げるものとす。



▲廃止される用沢教職員住宅を視察する文教厚生委員

☆消防団員等公務災害補償条例の改正
 「非常勤消防団員等に係る補償届書の基準を定める政令の一部改正」により、補償基礎額を改正するものです。

☆教職員住宅管理条例の改正
 北郷小学校にある用沢教職員住宅は入居希望者がなく、また、老朽化がすすんでいることから、空き家としておくことは管理上好ましくないため、これを廃止するものです。

副町長に田代信幸氏の選任を同意



田代信幸副町長

田代氏は53歳で、昭和51年に静岡県職員に奉職し、平成15年に本県で開催された「NEW!! わかふじ団体」の開催準備室や、収用委員会事務局の専門監などを歴任されてきました。同時に、固定資産評価員に選任することにも同意しました。

藤曲強収入役が選任

藤曲収入役が7月10日で任期満了により選任されました。藤曲氏は、昭和43年から町職員として35年間、更に平成15年7月11日からは、収入役として1期4年間勤められました。

7月臨時議会を開催

7月9日に、副町長の選任について臨時議会を開催しました。

● 一般質問 ●

7人が質問にたちました



▲開催100日前に行われたF1カウントダウンイベント



廣嶋 邦彦

F1レース開催により 地域振興は図れるのか

富士スピードウェイで今年9月開催のF1レースを町の地域振興にどの様に結びつけるのか。

1、町への経済効果について

2、周辺の事業所等への影響について

3、臨時駐車場について

4、トイレの問題について

富士スピードウェイで今年9月開催のF1レースを町の地域振興にどの様に結びつけるのか。町への経済効果について、3日間20万人もの観客が小山町にやってくるが、町として経済効果の波及のための施策はどの様に考えられているか。周辺の事業所等への影響が考えられるが、町内のゴルフ場、富士重工業、周辺の会社、飲食店等への影響が考えられるのか。どのように対処するのか。臨時駐車場について、町の駐車場、自衛隊軍士学校グラウンド等の貸し出しはどのようになっているのか。4、トイレの問題について、女性客は具体的に仮設トイレを好まないという話を聞いているが、正式トイレの増設は考えられないのか。5、F1対策は町民の立場に立つて調査・検討をされていると思うが、来年に向けて町独自の対策案を示してもらいたい。

町長答弁 町内への経済効果が図られるように対処しています

- 1、開催期間中の町内への出店につきまして、町内の希望者は1店舗と聞いています。場外におきましては、おおよそ1千人と言われるスタッフの弁当や出場チーム約80人分の食材と、5、6万人になるのではないかと思われるツアーバスの観客の弁当につきまして、商工会を通じて小山町内で引き受けることが出来ないと打診されているとのことですが、
 - 2、特に心配されますゴルフ場の対応につきまして、
 - 3、総合文化会館の駐車場の使用につきましては、使用条例の定めにより、軍士総合グラウンドはその管理規定に基づき使用されることとなります。
 - 4、本設トイレは別個、仮設トイレは10名に1基あて男女合わせて約1千個設置するとの聞いています。議員の意見は軍士スピードウェイ側に伝えます。
 - 5、少しでも町内での経済効果が及ぶよう、駿河小山駅や足柄駅の利用について、町としてもJR東海に働きかけて行きます。
- その他の質問
・ハイキング道における道標の見直しについて
・失われたつづめる倫理観を社会が取り戻すには

● 一般質問 ●

通院医療費の助成を中学3年生まで 引き上げては



池谷 洋子

1、「中学3年生までの通院医療費」助成について子育てにかかる経済的負担を軽減するため一刻も早い財源確保を図り、通院医療費助成を中学3年生まで引き上げてはと考えますが、町長の見解を伺います。

2、「思いやり駐車区画」の設置について

外見から健常者と見分けが付きにくい内部障害者や妊産婦の方などが、少しでも公共施設の入り口近くの駐車区域を利用できるように「思いやり駐車区画」の設置を考えます。また町民への周知と駐車マナーの向上を図るため区画には利用対象者を示すマークを表示し、利用について説明する看板など併設してはと、考えますが、「女性消防団員」の費用について

女性消防団員の活動は学校などでの防火指導や火災予防週間の広報活動、火災時の応急手当などです。女性の視点を取り入れた防災支援が期待されると考えますが、町の所見を伺います。

近隣市町における乳幼児等医療費助成の実施状況

(平成19年4月1日現在)

市 町	入 院			通 院			所制限
	対象年齢	食事助成	自己負担	対象年齢	自己負担	自己負担	
小 山 町	中学生	○	—	未就学児	—	—	—
御殿場市	未就学児	○	500円/日	未就学児	※500円/回	—	—
裾 野 市	中学生	○	—	中学生	—	—	—
沼 津 市	未就学児	○	500円/日	未就学児	※500円/回	—	—
三 島 市	未就学児	○	500円/日	未就学児	※500円/回	—	—
長 泉 町	小学3年生	○	—	小学3年生	—	—	—
清 水 町	未就学児	○	—	未就学児	※200円/回	—	—
函 南 町	未就学児	—	—	未就学児	—	—	—

※：月4回まで徴収

ポルマークである「車いすマーク」を表示した駐車区画がありますが、この内3区画について試行的に、内部障害者の「ハートプラスマーク」と、妊産婦の「マタニティマーク」を加えて表示し、その利用結果を見て、順次、町内の公共施設への設置を実施して行きたいと考えています。

3、近年女性消防団員の費用も多くの地域で行われるようになっていきます。消防防災での女性の活用
の面では、町内の火防隊の女性隊員が防火活動、防犯活動に参加しています。このことや、少子高齢化に伴う消防団員の慢性的な定員不足率不足等、今後の防災防災の充実を考えると、女性消防団員の費用は必要と考えますので、関係者等と検討・研究して行きたいと考えています。

町長答弁

財源等を見極めながら 検討していきます

1、子育て家庭へのご心配、またと承知していますので、またたく間です。中学3年生までの通院医療費の助成には、約4千加万程度の予算措置が必要となりま

す。少子化対策、また子どもたちの健やかな成長のため、乳幼児・児童に対する医療費助成制度の拡充は重

要だと考えていますので、ご質問の通院医療費助成については、段階的に拡充する方向も含めて、財源等を見極めながら検討して行きたいと考えています。

2、町の保健と福祉の拠点である健康福祉会館の駐車場には、5区画の国際シン

● 一般質問 ●



岩田 治和

減りつづける人口に対する町の対応について

平成17年発行の次世代育成行動計画書によれば、本町の人口は3年後の平成21年末には、2万人を割りこむことが推定されている。

旧小山地区は顕著であり、小学校の児童数の推移をみても、成美小学校では、昭和50年には574名の児童数であったものが、平成19年には半数以下の229名までに減少している。

また、明倫小学校についても同様な減少傾向がみられ、今後の推移をみても減少に歯止めはない。

近隣自治体はいずれも人口増加しているが、本町は減少が進む状況を見ると対応策が必要と考える。

従来からの旧態依然とした体制ではなく、時代の流れと、社会の多様性に対応した施策が必要である。

若者が定住しやすい環境の整備が重要であり、最優先課題として取り組むべきと考える。

人口減少の現状と対応について所見を伺う。

町長答弁

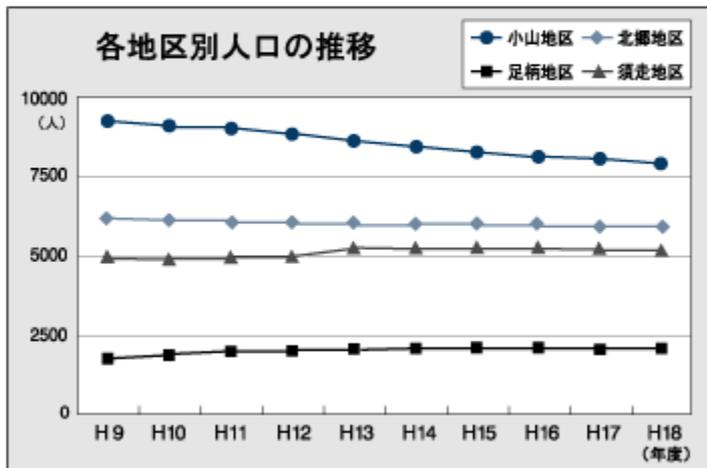
定住人口の増加施策を総合的に取り組んでいます

ここ10年間の小山町内の地区別の人口の推移を見ますと、小山地区が14・9%の減少、足柄地区が20・2%の増加、北郷地区が4.9%の減少、須走地区が0.8%の増加と地区によって相違なバラツキがあります。

日本全体が人口減少社会に転じている状況の中で、人口増加につなげることは重い課題であります。小山町にとっては、喫緊かつ、町の存立にもかかわってくる重大な課題であると認識しています。

町といたしましては、定住人口を増やすべく、企業誘致による雇用機会の拡大、子育てや教育環境の充実、公共交通機関の利便性の向上、優良な住居地の供給など、厳しい財政環境下ではありますが、優先順位をつけながら、人々が住んでみたいと感じる環境づくりを

総合的に取り組んでいます。町長に就任して約1か月が経過しました。選挙期間中、町内いたるところを回りましては、特に駿河小山駅周辺の状況につきまして、一日も早く何とかしたいと考えています。



● 一般質問 ●



岩田 潤泉

小山中学校の校舎改築計画について

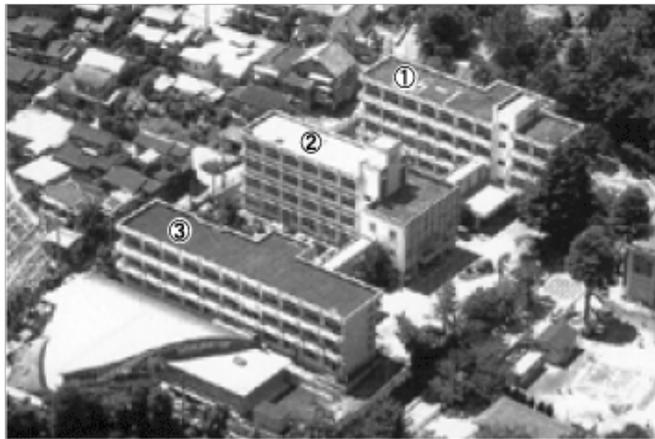
小山中学校の校舎をいかにするかは大きな問題です。校舎の体力度調査は終わり、本年度は基本設計にと

りかかり、20年度には実施設計の予定。21、22年度に工事が行われる予定とか。全体を新築するとすれば

15億円ぐらいかかるうかと思われますが、将来的なことなどをよく見通して、深く考慮して、ことを進めるべきだと思えます。

RDFのごみ処理方式の採用においては、ことを急いで慎重審議に欠け、大失敗をしましたが、今度の小山中学校の校舎のごとは、

十年後に世の批判を受けないよう、あれこれ考慮して計画を進めるべきかと思えます。
小山中学校の校舎改築をいかに行うのか、町長の方針を伺います。



▲改築等を予定している小山中学校

町長答 教育長 1棟は耐震補強も含めて基本設計に取り組みます

小山中学校の校舎は3棟あり、それぞれ昭和46年度、47年度、48年度に建設されたものです。

耐震診断の結果、構造耐震指標の1S値は、0.33、0.57、0.55となり、静岡県が定めた公共建物の構造耐震指標1.5以上という数値を下回り、耐震化が必要な建物となっています。

耐震化事業を計画するために、構造上危険な状態にある建物の危険度合い、いわゆる耐力度を調べるために、平成18年度に耐力度

調査を実施しました。この調査の結果、小山中学校の校舎の耐力度点数は、それぞれ4千112点、4千50点、5千300点という数値が出ています。

この耐力度は1万点満点で採点されるもので、国は構造上危険な状態にある鉄筋コンクリート造の建物を4千500点以下のものと、危険建物の改築推進のための補助対象としています。小山中学校の校舎は、従来、耐力度点数を3千棟とも

4千500点以下を想定し全面改築で計画していましたが、耐力度点数が4千500点を超える建物1棟がありましたので、耐震補強を含めた中で、基本設計に取り組んでいきたいと考えています。

※写真中

- ①昭和46年度建設
- ②昭和47年度建設
- ③昭和48年度建設

● 一般質問 ●



湯山 鉄夫

財政の健全化へ向けて 町の経済状況の把握について

1、国を始め全国の各市町村のほとんどは、大小の差はあれ赤字財政と言われます。わが町の財政を鑑みるに楽観視できない。財政と

いふとも家計と同じで、収支の均衡を保ちつつ、生活を維持していかねければなりません。

町民の福祉向上、住民生

活の充実、行政サービスの向上、政策事業を展開するために、本来は自主財源、自己資金で遂行することが理想ですが、今後において政策事業

町長答弁 歳入増加策を積極的に図り 安心できる財政を築きたい

1、町の行う各種事業につきましては、第3次小山町総合計画に位置づけている事業を最優先としています。町財政を健全財政に向けての道筋については、歳入根幹の町税は、減税措置の廃止や税源移譲などにより減少が懸念されています。

歳出の人件費は、定員管理により年々減少していますが、一方で扶助費は少子高齢化、福祉の充実等から年々増加しています。

歳入の増加を積極的に

図っていくために、企業誘致の早急な実現や、道の駅等に指定管理者制度も含めた民間運営の導入の必要もあると考えており、可能な限り町民の皆様の協力と参加を得ながら、可能な限り早く、安心のもてる財政内容を築きたいと考えています。

2、町内経済状況の把握につぎましては、各種指定統計等を実施し、そこから得られる統計データを、福祉、医療、道路整備、防災など

● 一般質問 ●

ワークショップの意味と 参加した2つのワークショップについて



藤田 豊造

基礎的な質問であります
が、ワークショップとはど
ういう意味でしょうか。さ
らにそれをどのような目的
を持ち、どのような行われ
方をするのかお尋ねします。
その中で寄せられる民意に
ついて、どのように酌み取
られ、また反映されていま
すか。

さらに私が参加しました
2つのワークショップにつ
いてお尋ねします。

- 1、中山調整備事業、現「足
柄ふれあい公園」について
であります。あそこは公園
を造ろうとした経緯と完
成後、町に移管された後の
維持管理費をどのように捻
出しようと考えているのか、
また、現在で言えば人のい
ない公園が多いが、多くの
人が集まり、さらに新しい
交流の場となるような効果
はあるのか。
- 2、足柄再生会議では活発
な意見が出されたが、現在
どのような進捗状況である
か、今後どのようにするの
か。

町長答弁

まちづくりにおける住民参加 型の合意形成の手法です

いわゆる「ワークシ
ョップ」という言葉は「体験型
の講座」という意味が本来
的な意味ですが、近年はむ
しろ「まちづくりなどにお
ける住民参加型の合意形成
の手法」という意味で用い
られています。

事業を実施する際、いか
に費用対効果を上げるかと
いうことと同時に、地域住
民にいかにも満足していただ
けるかという点も重要なこ
とです。そういう意味でこ
れからは地域住民自身が地
域づくりに参画することが



▲足柄ふれあい公園ワークショップの様子

重要です。今後とも事業に
当たってはワークショップ
をはじめとする、地域住民
が参画する機会をできる限
りももたせたいと考えてい
ます。

1、農村公園については、
平成9年度に事業採択され、
事業種目としては、農村生
活環境基盤型と位置づけら
れています。竹下地域整備
の基本的な理念としては、
都市からの観光客を自然農
村景観の優れた区域に誘致
し、物と文化の交流を図り、
竹下地域の活性化を図る
ことです。

2、足柄地域の観光交流空
間作り推進事業として4つ
の事業があります。何回か
のワークショップ等を経て
提案されたこれらの事業を、
積極的に推進していく必要
性は充分認識しています。

● 一般質問 ●



新町長の行政運営と施策の展開、 財政状況について

白井 淳一

新町長に選任された高橋町長に、町の行政運営と施策の展開に関する所信についてお伺いします。

1、町長は選挙期間中、「町の自立」を町民に訴えてきましたが、その具体的な内容についてお聞かせいただけますか。

2、平成19年度末の地方債（町の借金）の残高見込額は約79億4千万円弱となる見込みで、町の年間予算の総額に匹敵する額になり、加えて、平成19年度から21年度の総合計画・実施計画により、須走まわりくくり整備事業、豊門公園整備事業などのために、新たに、12億5千万円弱の借金を繰り込むことになっていきますが、このような財政状況をどう認識し理解されているのか。

3、町の預貯金である財政調整基金はどのくらいあるのか、公表願いたい。併せて、「小山町減債基金条例」に基づく運用状況をお聞かせ願いたい。

町長答弁

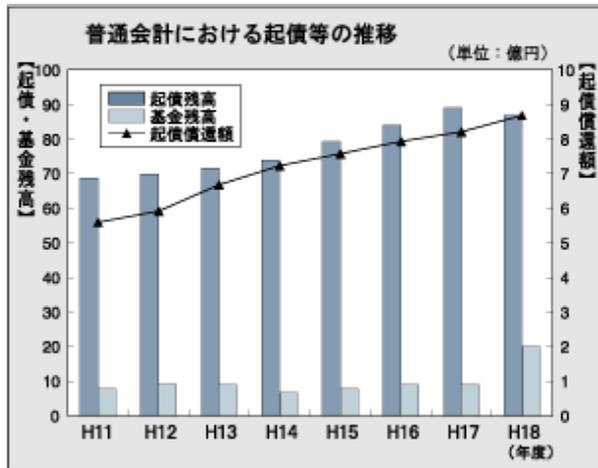
余裕ある財政状況を打ちた てます

1、「自立」とは、「出来る限り、他にお世話にならず、自分達でやって行く」という意味です。

2、地方債の残高は、平成17年度をピークに、平成18年度決算からは、減少していく見込みです。今後の起債計画は、常に健全財政を念頭におきながら、適正な計画をしていきます。

3、財政調整基金の状況ですが、平成18年度末現在で、3億5千万円の残高であります。私が就任以來申し上げています「余裕のある町財政状況を打ち立てる」とは、この基金へ積み立て、不測の事態に対応できる体制をつくることです。

町の減債基金の運用状況は、旧新宿区立足柄学園敷地の元金3億6千万円の償還期限が平成20年3月であり、これに充てるために、積み立てた結果、平成18年



度末には、3億8千万円、余の残高となり、そのうち、本年度は3億2千万円を取り崩し、一般財源とともに、その償還に充て、今年度末の減債基金残高は、約4千700万円となる見込みです。

今後、予定されています学校教育施設の改築等の目的に合わせた、基金の積立てや、財政調整基金への積立てなど、計画的な財政運営に目を光らせて取り組んでいきます。

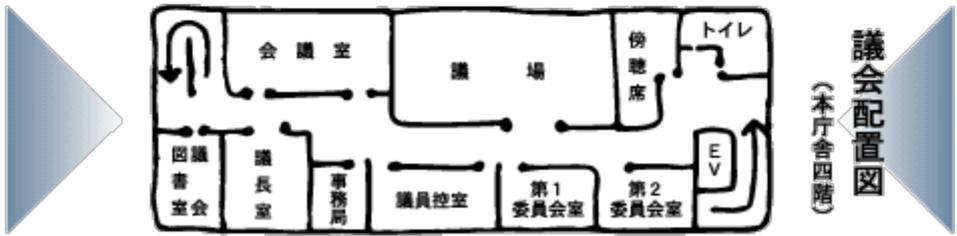
議会の主な動き

29日	15日	12日	11日	7日	1日	◆6月	28日	14日	11日	8日	◆5月	23日	22日	13日	3日	◆4月	
視察来町	議会全員協議会	議会	文教厚生委員会	文教厚生委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会議員選挙	町議会議員当選証書付与式	新人議員研修会	臨時議会	議会全員協議会	議長新任挨拶まわり	議会運営委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会	議会広報特別委員会

9月定例会お知らせ
 9月定例会が次のように開催される予定です。議会の傍聴にお出かけください。
 ◆9月4日 町長から9月議会への提出議案及び平成18年度の決算について説明、監査委員からの監査結果報告
 ◆9月7日 平成18年度決算質疑
 ◆9月11日 一般質問
 ◆9月21日 常任委員会委員長の前着結果報告、質疑、採決
 ※変更になる場合があります。

会議録の閲覧ができません。議会だよりは、紙面の都合により、議員や町民等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で会議録を閲覧できますので、ご覧ください。
 なお、8月定例会の会議録は、8月下旬から閲覧できる予定です。過去の議会だよりを閲覧になりたい方は、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>



編集後記

行政改革の一端として、昨年12月の定例会で、議員定数を15人に、3月の定例会で、常任委員会は2委員会(総務建設委員会8人、文教厚生委員会7人)に決まり、前回より議員定数は3人減、常任委員会も1の減となりました。
 議会広報対策特別委員も6月定例会で、5名選任されましたが、前回より2名減となりました。未記の限られた委員で、町民の皆様にご愛読して戴くために、議会のこと、は勿論、大勢の方々の議会に対する感想・要望等寄稿も充実させ、住民の皆様と直結した、交流のある議会広報紙になるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。
 なお、議会だよりは、議会終了後発行することになっております。取材等で、皆様のところへ、お伺いすることがあるかと思いますが、その節は忌憚のない意見等お聞かせ戴けたら幸甚です。
 また、読者の皆様からの感想も随時受け付けております。電話、メール等でご一報いただければ、責任をもって対応させていただきます。
 今回から、表紙絵については、町の文化財をシリーズで掲載していきます。二度と再現できない文化財を大切に今後世に伝えたい。そして、観光面等に利用して戴き、町の交流人口の一助としてご利用くだされば幸いです。

「込山恒広記」
 (編集委員)
 委員長 込山 恒広
 副委員長 米山 千晴
 委員 白井 淳一
 委員 田代 一夫
 委員 岩田 治和

